

東北地方 1 か月予報

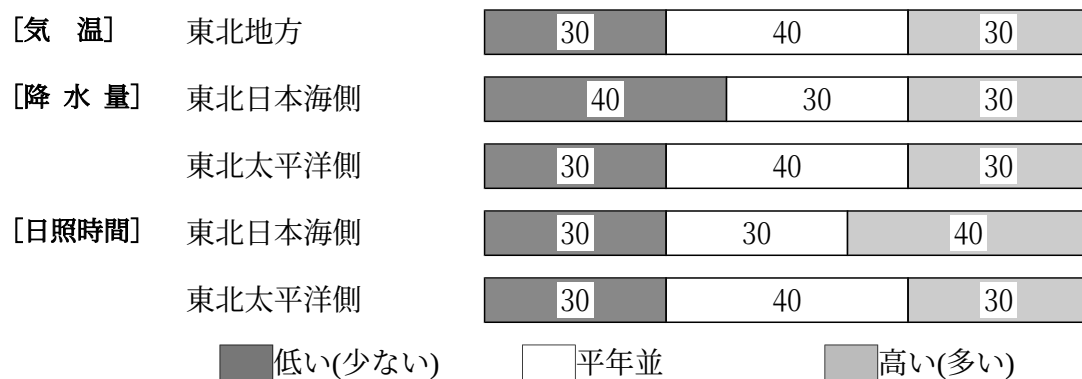
(2月16日から3月15日までの天候見通し)

平成20年2月15日
仙台管区气象台発表

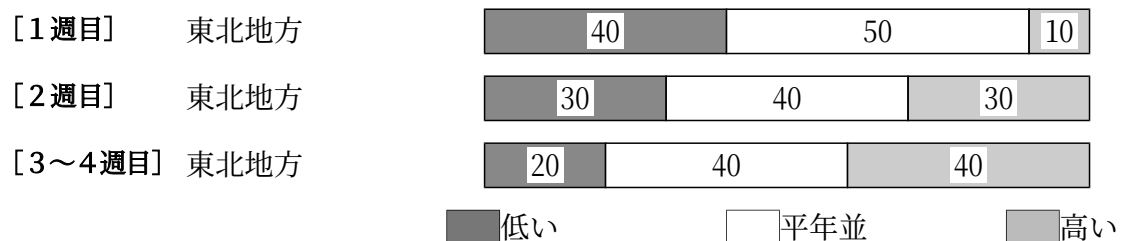
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側は平年に比べて曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
週別の気温は、1週目は平年並の確率が50%、3～4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1 か月 : 2月16日(土)～ 3月15日(土)
1 週目 : 2月16日(土)～ 2月22日(金)
2 週目 : 2月23日(土)～ 2月29日(金)
3～4 週目 : 3月 1日(土)～ 3月14日(金)

<次回発表予定等>

1 か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は2月22日
3 か月予報: 2月25日(月) 14時
暖候期予報: 2月25日(月) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	0.2	86.4	102.7	-0.9	-0.2	0.8
深浦	0.9	73.8	76.4	0.0	0.6	1.5
むつ	-0.3	77.6	119.6	-1.3	-0.6	0.2
八戸	0.4	46.9	148.9	-0.6	0.1	1.0
秋田	1.4	90.7	94.2	0.4	1.1	2.0
盛岡	-0.1	62.7	145.0	-1.3	-0.6	0.5
大船渡	1.9	64.5	151.3	1.1	1.6	2.4
宮古	1.4	75.3	162.7	0.5	1.0	1.9
仙台	2.9	56.1	162.2	2.0	2.5	3.4
石巻	2.1	51.1	171.3	1.2	1.7	2.7
山形	1.1	65.2	121.3	0.0	0.6	1.8
新庄	0.3	120.7	83.0	-0.7	-0.1	0.9
酒田	2.6	101.2	88.5	1.6	2.2	3.1
福島	3.1	58.8	158.5	2.1	2.6	3.7
若松	1.0	63.3	115.4	-0.1	0.5	1.6
白河	1.7	51.8	164.9	0.7	1.2	2.4
小名浜	4.8	73.3	176.6	3.9	4.4	5.3

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.7～+0.6	83～110	96～105
東北日本海側	-0.7～+0.6	92～108	91～107
東北太平洋側	-0.6～+0.6	74～117	98～104

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.9～+0.9	-0.8～+0.8	-0.5～+0.4
東北日本海側	-0.9～+0.9	-0.8～+0.8	-0.6～+0.5
東北太平洋側	-0.9～+1.0	-0.8～+0.8	-0.5～+0.4

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 20 年 2 月 15 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (2 月 16 日～3 月 15 日) :

冬型の気圧配置となる日は少なく、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1 週目 (2 月 16 日～2 月 22 日) :

冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で、東北日本海側と東北太平洋側の内陸部では曇りや雪の日が多いでしょう。東北太平洋側の沿岸部ではおおむね晴れる見込みです。

平均気温は平年並の確率が50%です。

2 週目 (2 月 23 日～2 月 29 日) :

冬型の気圧配置となる日は少なく、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4 週目 (3 月 1 日～3 月 14 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

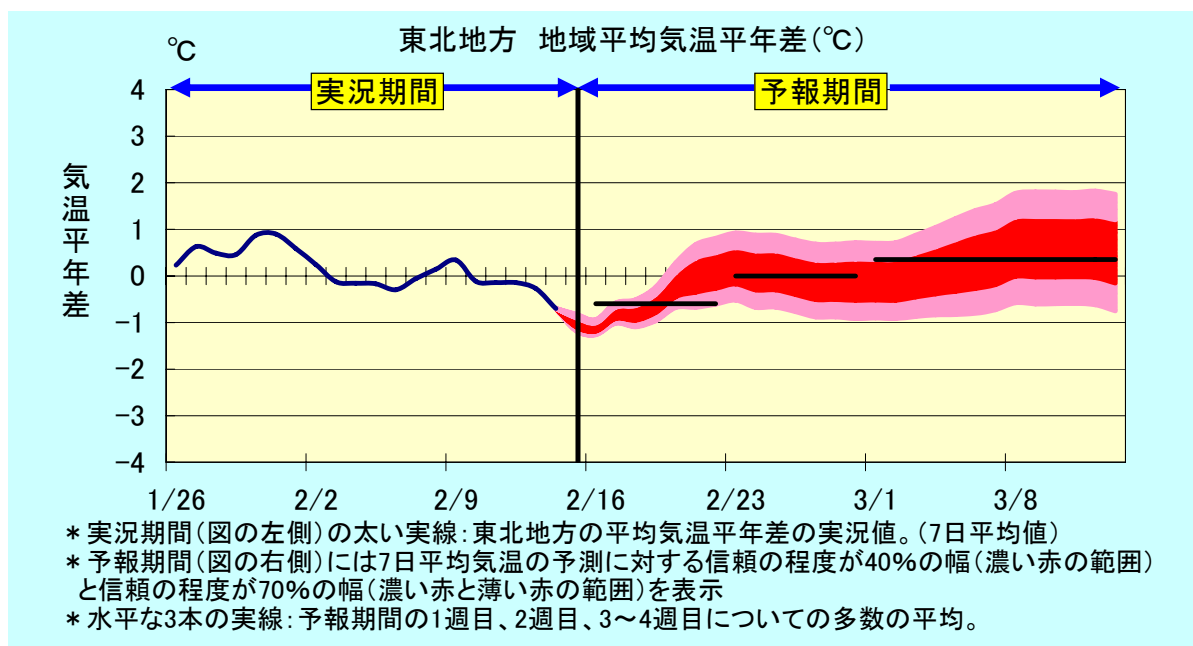
平均気温は平年並または高い確率がともに 40%です。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	9.0 日	1.6 日	2.0 日	5.3 日
東北太平洋側	17.6 日	4.3 日	4.1 日	9.2 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目ともに平年付近の予想となっている。

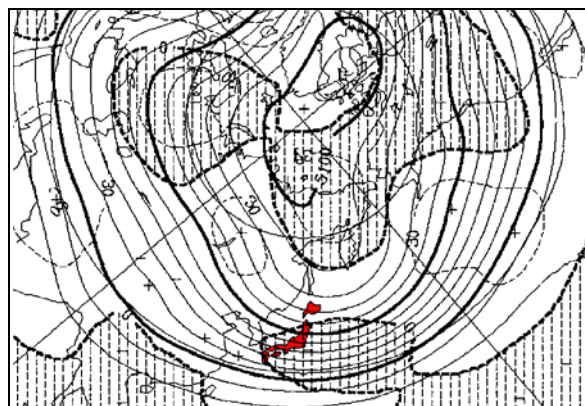


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

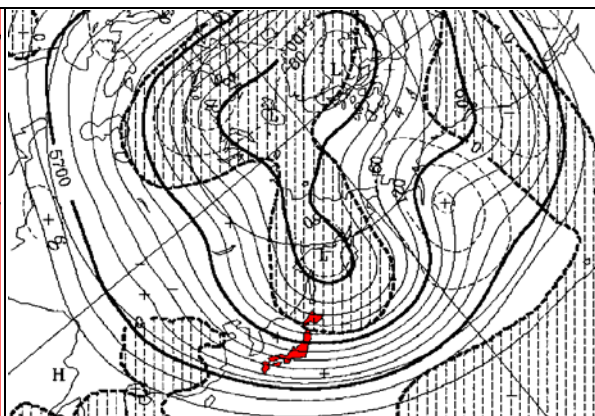
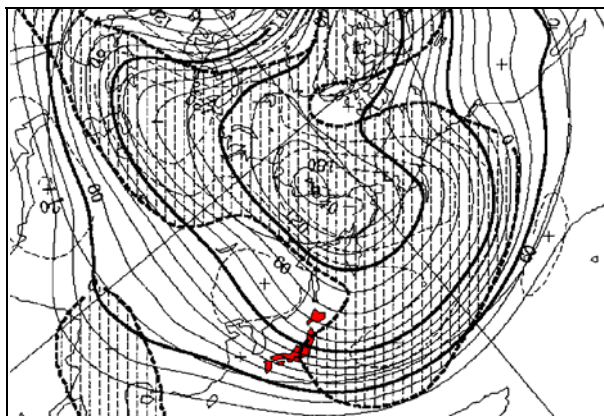
1か月平均: 日本の本州付近と極東の高緯度地域は負偏差。北海道は大陸からアリューシャンまで続く正偏差域に覆われ、寒気の南下は少ない見込み。日本付近の等高線は東西になだらかで、天気は数日の周期で変わる見込み。地上天気図(図略)では冬型の気圧配置は弱く、低気圧の影響が予想される。

1週目: バイカル湖の東に中心を持つ正偏差域が大陸にあり、日本の東は負偏差で東谷傾向。冬型の気圧配置は一時的な見込み。

2週目: 本州付近は正偏差域となっており、等高線は東西になだらかで、天気は数日の周期で変わる見込み。極東の高緯度の負偏差は北海道まで続き、東北地方は一時寒気の影響を受けるが、その影響は弱い見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

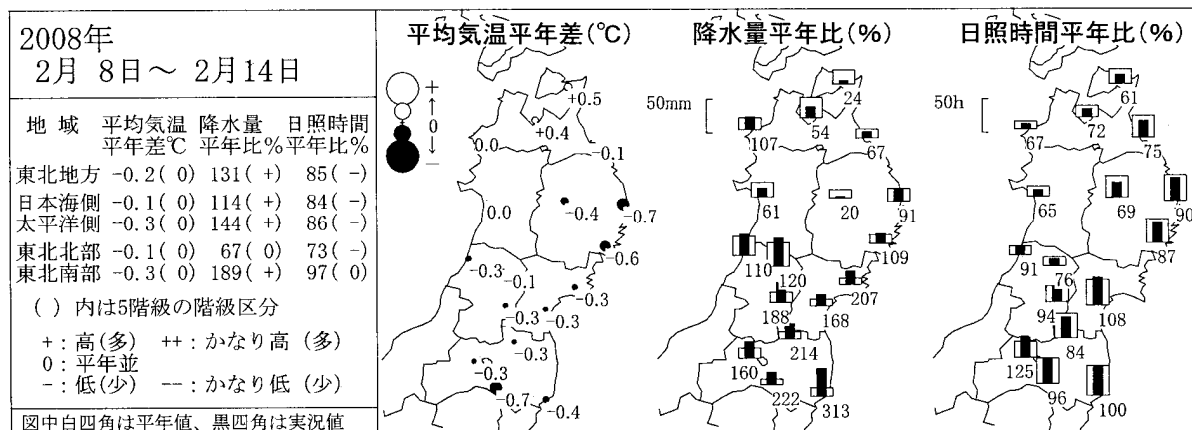
実線は、等高線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（2月8日～2月14日）の天候の経過

この期間、天気は短い周期で変化した。8日は冬型の気圧配置となり、東北日本海側を中心に曇りや雪となった。10日には南岸低気圧の影響で東北太平洋側や南部を中心に雪や雨となる場所があり、12日には南岸低気圧と前線の影響で雪や雨となる場所があった。その後、再び冬型の気圧配置となり東北日本海側と内陸を中心に雪となり、14日には強風により交通機関に影響が出た。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部で平年並、東南北部で多い。日照時間は東北北部で少なく、東南北部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）